

2020年7月17日

公益社団法人日本ボート協会
パラローイング委員会

2020年東京パラリンピック延期に伴う日本代表候補選考に関する考え方及び選考方針

日本ボート協会パラローイング委員会（以下、当委員会）は、2021年8月に延期が決定している2020年東京パラリンピック日本代表候補（以下、日本代表候補）の選考について以下の通り対応する。

1. 延期決定前の日本代表候補選考状況と選考結果の有効性

パラリンピック延期が決定した時点で当委員会は、2019年8月28日公表「2020年東京パラリンピックに関するスケジュール、出場権獲得要件、日本代表選手選考について」※（以下、従来選考方法という）に基づき、2020年度の当委員会指定選手（強化指定選手、育成指定選手、指定コックス）内定者を母集団として2020年3月7日をもって日本代表候補選考を終了し、日本ボート協会内での承認手続きを行っている状況にあった。

この選手選考は2020年東京パラリンピックおよびその予選会に関する選考であったため、今回、本大会が延期されたとしても3月7日までに終了していたPR1男女シングルスカル・PR3混合舵手つきフォアの選考結果は有効であると考えられる。そのため、2021年開催の東京パラリンピックに向けた、新たな代表候補選手選考は実施しない。

ただし、日本代表候補選手選考は当該年度の指定選手から選出しており、現時点で日本代表候補として内定されている選手が2020年11月末日までに2021年度の指定選手として認定（内定も含む）されない場合、認定されなかった選手は日本代表候補から除外し、欠員について補充する。

また、2020年3月7日時点で選考対象者なしのため選考できていなかったPR2混合ダブルスカルのみ、対象者が発生した場合は2021年1月31日までに期限として選考する。

※2019年8月28日付文書「2020年東京パラリンピックに関するスケジュール、出場権獲得要件、日本代表選手選考について」

<https://www.jara.or.jp/para/2019/para0828.html>

2. 再選考の方針

PR2 混合ダブルスカル

- ・ 選考方法は基本として従来選考方法を適用する。ただし、レース回数は2度までとする。
- ・ 選考時期は2021年1月31日までに実施される強化合宿のいずれかに行う。実施日程の詳細は選考対象者と調整する。
- ・ 選考対象者は2021年1月1日時点で、当委員会指定選手として認定されており、2021年度の指定選手として内定されている者とする。
- ・ ただし、PR2 混合ダブルスカルが編成できる状況になっていることを前提とするため、男性、女性どちらかのみでは実施しない。

日本代表候補に欠員が出た場合の次点選手繰り上げ及び再選考

日本代表候補に内定している選手に以下の状況等が発生し、欠員が出た場合は補充する。

- ・ 2021 年に開催される本大会およびそれに関連する予選大会に参加できない選手が出た場合。
- ・ 2020 年度および今後実施する 2021 年度当委員会指定選手選考基準を満たせなくなった選手が出た場合。
- ・ その他の事由で欠員が出た場合。

欠員に対する選手補充方法の優先順位として第一に 2020 年 1 月～3 月に実施した日本代表候補選考の次点選手繰り上げ、次いで再選考とする。次点選手がいなかった場合は再選考とするが、再選考対象選手がいなかった場合、当該種目は出場を見送る。

次点繰り上げおよび再選考の扱いは下記の通りとする。

▶次点繰り上げおよび再選考の対象者

次点繰り上げ対象者

以下のすべての要件を満たす者とする。

- ・ 2020 年度および 2021 年度当委員会指定選手選考基準を満たした者
- ・ 2020 年 1 月～3 月に実施した日本代表候補選考において次点選手となっていた者
- ・ 欠員となった選手の代替となる障がいクラス、同一性別である者

再選考の対象者

漕手においては、以下のすべての要件を満たす者とする。

- ・ 2020 年度および 2021 年度当委員会指定選手選考基準を満たした者
※2021 年度指定選手選考実施前は 2020 年度指定選手となっている者
- ・ 欠員となった選手の代替となる障がいクラス、同一性別である者

コックスにおいては、2021 年度協会指定コックス選考認定者のうち、2020 年度協会指定コックスを除き、最高位となった者とする。

▶再選考の時期（再選考準備期間の設定）

- ・ 2020 年 11 月末日までに欠員が出た場合
欠員が出た日から 30 日以上が経過した最初の強化合宿にて選考する。日程等の詳細は選考対象者と調整する。
- ・ 2020 年 12 月～2021 年 2 月末日までに欠員が出た場合
欠員が出た日以降の最初の強化合宿にて選考を行う。日程等の詳細は選考対象者と調整する。
- ・ 2021 年 3 月 1 日以降は選手登録等手続き等の影響を考慮し、原則として再選考は実施しない。

▶再選考の方法と判定

再選考にあたっては、従来選考方法を適用するが、選考レース回数については以下のとおりとする。なお、コ

ックスについて再選考が必要な場合は、今後定める 2021 年度協会指定コックス選考の選考方法を適用する。

- ・ PR1 男女シングルスカルおよび PR2 混合ダブルスカル
レース実施回数は 1 回のみとし、1 着となった者を日本代表候補選手とする。
- ・ PR3 混合舵手つきフォア
乗り比ベ（シートレース）実施回数は 1 回のみとし、タイムの速かった者を日本代表候補選手とする。

3. 「2020 年東京パラリンピックに関するスケジュール、出場権獲得要件、日本代表選手選考について」の更新

東京パラリンピック延期により新たに予選ルールが更新されたことを受け、従来選考方法の下記事項にも変更が生じている。

2. 東京パラリンピック出場権獲得要件 東京パラリンピック出場権獲得の流れに関する注意・補足事項

項目 2 の変更

- ・アジア・オセアニア大陸予選に PR1 男・女シングルスカルが出場し、両クルーがそれぞれ 1 着となり出場権獲得の対象となった場合、東京パラリンピック予選ルールに則り、日本ボート協会は男・女どちらかの出場権を獲得するかを選択する。

選択基準

2019 年世界選手権で行われた PR1 男・女シングルスカル優勝タイムを 100%として設定し、アジア・オセアニア大陸予選での最終出漕レースのタイムがより同種目の 100%に近いクルーを選択する。

アジア・オセアニア大陸予選が行われない等特別な状況が発生した場合は、東京パラリンピック予選ルールに則り、日本ボート協会は PR1 男・女シングルスカルどちらの出場権を獲得するか選択するため、日本国内で早期に選考レースを行い、2019 年世界選手権で行われた PR1 男・女シングルスカル優勝タイムにより同種目の 100%に近いクルーを選択することとする。選択されなかったクルーは、アジア・オセアニア大陸予選で出場権を獲得できない。

項目 4 の変更

- ・開催国申請を行う場合、日本ボート協会は東京パラリンピック予選ルールに則り、PR2 混合ダブルスカルと PR3 混合舵手つきフォアのうち 2019 年世界選手権に出場した PR3 混合舵手つきフォアを選択する。

3. 日本代表選手選考 ①日本代表候補選手選考の参加要件 日本代表選手選考に関する注意・補足事項

項目 2 の変更

- ・東京パラリンピックに出場可能な選手は、2018 年 1 月 1 日～2021 年 6 月 13 日までの間に FISA 公認大会に選手として出場している必要あり。

項目 3 の変更

- ・東京パラリンピックに出場可能な選手は、2021 年 12 月 31 日まで有効となる障がいクラス分けのステータスを

有している必要あり。

以上

参考 1： 延期された東京パラリンピックに関するスケジュール（2020年8月時点）

日程	内容	場所等	備考
状況により開催	日本代表候補選手選考	相模湖漕艇場	欠員が出た場合のみ
2020年11月めど	2021年度指定選手選考	相模湖漕艇場 他	
未定	アジア・オセアニア大陸予選	未定	PR1 男・女シングルスカルのみ パラリンピック出場権 1 枠
アジア・オセアニア大陸予選後	開催国枠推薦書の提出		※自力でどの種目もパラリンピック出場権を獲得できていない場合のみ
2021年5月7～9日	世界最終予選	イタリア・ガヴィラーテ	パラリンピック出場権 1 or 2 枠
2021年6～8月	パラリンピック直前合宿	調整中	
2021年8月27～29日	東京パラリンピック ボート競技	東京・海の森水上競技場	

参考 2： 2020年東京パラリンピック 予選ガイド ボート競技(2020年4月30日改訂版 参考訳)